

# 地域医療連携新聞



ASAHI UNIV.

NO.3

平成17年2月号  
(隔月発行)発行／朝日大学村上記念病院(地域医療連携室)  
岐阜市橋本町3丁目23番地 TEL.058-253-8001(代)  
TEL.058-253-8920(直) FAX.058-253-8910(直)

## 最近の話題・トピックス

### 『抗リウマチ薬について』

整形外科・リウマチ科 教授 日下義章

関節リウマチの治療には薬物療法、手術療法、リハビリテーションという3つの柱があります。この中でも薬物療法は最も重要で、関節リウマチの病勢を薬物によりコントロールできなければ、いかなる手術療法もリハビリテーションも十分な効果を生み出すことができません。

従来はシオゾール、メタルカプターゼ、リドーラ、リマチルなどが抗リウマチ薬の主流で、治療する側としては持ち駒がないことが悩みの種でした。1990年代に入ってアザルフィジンそしてリウマトレックスが登場して、治療の選択肢に少し余裕ができました。さらに、従来から抗生素として良く知られるミノマイシンに強力な抗リウマチ作用があることが明らかになりました（日本では保険適応がありません）。

抗リウマチ薬に共通する問題点の一つに「エスケープ現象」があります。これは特定の抗リウマチ薬を数年使い続けると、その効果が減弱または消失する現象です。このために、ある抗リウマチ薬がエスケープした患者様には他の抗リウマチ薬を使用することになり、これを繰り返すうちに持ち駒がなくなってステロイド剤に頼らざるをえなくなるという事態に陥りがちでした。リウマトレックスではこのような現象がおこりにくく、効果が減弱しても投与量を増やせば再び効果を発揮することがよくあります。このため、最近ではある程度症状の強い関節リ

ウマチに対してリウマトレックスは第一選択薬となりました。しかし、日本では1週間当たり8mg以上の投与が認められていないことは大きな問題です。欧米ではこの倍量程度の投与が可能であり、日本における投与量の見直しの声が上がっています。

一昨年にはアラバが新しい抗リウマチ薬として登場しました。この薬はリウマトレックスの使用が困難であったり無効な症例にも有効な場合が多く、その効果も強力です。副作用としての間質性肺炎例が大きく報道されたためその使用は慎重にならざるをえませんが、今後アラバの使用量は増加するものと思われます。

最近の抗リウマチ薬のトピックは生物学的製剤の登場です。一昨年にはレミケードが登場し、近々にエンブレルが使用可能になります。これらの薬剤の切れ味には驚かされます。投与した当日、または翌日には効果を実感すると多くの患者様は言いますし、検査データもこれを裏付けるように改善します。しかし、問題点も多々あります。レミケードはリウマトレックスと併用する必要があり、リウマトレックスを使用できない患者様はこの薬の恩恵を受けることはできません。また、日本で認められている用量は少なく、投与初期は良いのですが長期的に十分な効果を維持することが困難であるという問題もあります。感染症に対する抵抗力を減弱する副作用も問題です。

いずれにしても、われわれ関節リウマチを治療する立場としては薬剤の選択肢が増えたことは事実です。今後は手術療法やリハビリテーションを含めて、持てる武器を総動員して関節リウマチという難病に取り組みたいと考えております。

### 図書室利用のご案内

講座図書・コメディカル図書などリストがございますのでいつでもご利用下さい。  
利用時間／月～金曜日 午後1～5時まで  
ご利用の際は連携室までご連絡下さい。



### MRI・CT依頼検査フィルムについて

フィルムに代わりCD-ROMでのお渡しが可能になりました。ご希望の方は、ご予約の際にお申し出ください。

### 院内研修会等のご案内

#### ●第10回開放型病床研修会

平成17年2月26日(土) PM 3:30～8:00  
ホテルグランヴェール岐山

#### ●第20回肝胆脾疾患臨床報告会

平成17年3月24日(木) PM 8:00～  
特別講演「ウイルス肝炎の最新の治療」  
武藏野赤十字病院 泉 並木 先生  
ホテル330グランデ

#### ●整形外科症例検討会

毎週月・水曜日 PM 5:30～6:30  
整形外科カンファレンス

#### ●糖尿病教室

毎週金曜日 PM 3:00～4:00  
8F 講堂

### 新任医師のご紹介



整形外科

助手：山森寛之  
(本年1月1日赴任)



# 診療医ご案内



(平成17年2月現在)

診療科	月	火	水	木	金	土
総合内科	小島	松井	奥田	井田	武田	加藤(隆)
消化器内科	1 診 2 診	井田 島崎 小島 加藤(隆) 奥田 芋瀬	芋瀬 尾松 谷口 濱口 橫溝			
循環器内科	1 診 2 診	阪本 加藤(周) 足立 加藤(周) 阪本 足立	椿本 高田 一 椿本 高田 松井			
呼吸器科		橋倉	一	一	橋倉	一
糖尿病・甲状腺・内分泌科		猿井 武田 武田 猿井 猿井 武田				
外科	1 診 2 診	山本 山崎 山本 川部 山崎 川部<隔週> 佐々木 川部 磯辺 中嶋<隔週> 中嶋 磯部<隔週>	中嶋<隔週> 中嶋<隔週>			
乳腺外科		樺木 樺木 樺木 樺木 樺木 樺木				
脳神経外科	1 診	安藤 郭 安藤 山田 安藤 郭				
	初診 再診(リハビリ)	日下 植村 福井 平井 植村 山森 藤田 櫻木 櫻木 <隔週> 福井・山森 <隔週>				
整形外科	予約診 予約診 予約診	一 山森 一 櫻木 整形一般 今泉 脊椎外科 藤田 外傷外科 福井 整形一般 平井 整形一般 日下 リウマチ 人工関節 植村 リウマチ 脊椎外科 塚原 リウマチ 人工関節			大友 整形一般・腫瘍 今 泉 (1・3・5週)	
眼科	稻積	稻積 稲積 稲積 稲積 稲積 稲積				
泌尿器科	一	伊藤 一			江原	一
歯科・口腔外科	村本 松間	村本 松間 村本 松間 村本 松間 村本 松間				

## [ご案内]

- 診療受付時間は、全科8:00～11:30、ただし、初診の方は、11:00で受付終了。(救急・急患の場合は、この限りではありません。)
- 年度変わりの時期や学会出張により、診療医が変更することがありますので、予め確認が必要である方は、お電話でお尋ねください。